



善五郎蔵とEV

## 編集後記——私の好きな場所

朝6時。紺屋町の高齢者専用賃貸マンション[こやまち番号館]6階の一室から、見慣れた市街地の景色と米子城跡を仰ぎ、[DARAZ-FM]を聞き流しながら目を覚ます。

部屋の広さは25㎡。トイレ、ミニキッチン、ベッド付の洋間に共益費、食費、生活支援サービスが付いて月14万円。スタッフが24時間、ボタン一つで部屋まで来てくれるので、高齢で心と足腰の弱った“おひとりさま”の私でも安心して、快適に暮らせる。施設1階のレストランで朝食を済まし、朝刊に目を通した後、すっかり薄くなった髪の毛をちゃっちゃとセットして、近くの[ほっしょうじ通り]にあるコンビニエンスストアまでプラプラと散歩に出かける。

[ほっしょうじ通り]は、平成22年にアーケードを撤去し、全国的にもめづらしい、芝生を敷いた商店街。完成から20年が経ち、芝生や樹木の成長と共に新しい店舗と賑わいも増え、新しいまちづくりのモデルとなっていた。

午後は、太陽光発電を使って充電した電動の超小型車に乗って、アーケードがなくなり明るくなった本通り商店街を散策。右手に、おしゃれで個性的な若者で賑わう[SKYビル]を見上げながら、懐かしい歌声が漂う[笑い庵]で一服して、旧加茂川沿いの白壁土蔵まで足を伸ばしてみた。

加茂川沿いの白壁土蔵は、長い年月を経て、今なお市民のまちづくり拠点として残っている。そして[中海+加茂川遊覧船]は5艘に増え、地域の元気な若いNPO団体が運行していた。旧加茂川は、周辺住民の毎週のゴミ拾いや清掃活動が実り、今では大きなしじみやめだかも見られるようになった。

そして週末には、[ほっしょうじ通り]のEV(電気自動車)シェアを活用し、皆生温泉で日本海を望みながらゆったりと汗を流し、時々、隣部屋の婆さんを誘い大山まで足を伸ばす。

日本海と大山、温泉や自然、新鮮な食材に恵まれた環境の中で、長年の友と一緒にまちなかに暮らせる幸せ。高齢になっても安心して快適に暮らせるまち、米子。

官民が一体となって、小さな一歩から始まった、新しい米子の小さなまちづくりは、少しずつ姿を変えながら、20年後もしっかりつながっていた。

私の好きな場所。

それは、20年後も [米子のまちなか] なのである きっと…



## 米子市中心市街地活性化基本計画の概要

### まちなかの区域

この計画では、交通拠点であるJR米子駅周辺、古くから形成されている商店街、都市的住宅の立地が進む錦町周辺、歴史や文化・自然資源が残る寺町周辺、米子城跡、旧加茂川を含んだ約300ヘクタールの区域を「中心市街地まちなか」に設定し、「人が集まり、歩いて楽しみ、元気に暮らせる、中心市街地」を基本コンセプトに、継続事業を含め84事業を実施することで、中心市街地の活性化を図っていくこととしています。

■計画区域 約300ha ■計画期間 平成20年11月～平成26年3月

### 米子市の概要

(平成24年5月1日現在)

- 人口/149,028人 (男 70,925人 女 78,103人)
- 世帯数/63,457世帯
- 面積/132.21km<sup>2</sup>



### [大山中海圏域]の50万人をターゲットに!

米子市、境港市、南部町、伯耆町、日吉津村、大山町、日野町、江府町、日南町、松江市、安来市

よなごのまちづくり情報発信

# よなご・かえる通信

よなご・かえるプロジェクト ホップ!ステップ!



2012

かえる  
つながる。  
そして  
次のステージへ  
ジャンプ!



発行/米子市中心市街地活性化協議会 〒683-0823 鳥取県米子市加茂町2-204 (米子商工会議所内)  
TEL.0859-22-5131 FAX.0859-22-1897 E-Mail. tmgt@yonago-chukatsu.jp

編集・撮影/よなご・かえるプロジェクトチーム (田中国彦・萱野雄一・大森圭)



米子市中心市街地の情報発信とまちなかのライフスタイル提案 **情報発信中!**  
よなご・かえる通信WEB  
<http://www.yonago-kaeru.jp>

# 人が集まり、歩いて楽しめ、 元気に暮らせる中心市街地

3年前に産声をあげた、よなご・かえるプロジェクト（米子市中心市街地活性化基本計画）。善五郎蔵～ガラスクリエイティブボックス～スカイビル～笑い庵、および、昨年夏にオープンした元町交流センター・さんを拠点とした、点から線へ、線から面へと展開する“にぎわいトライアングル”を形成し、法勝寺町および、現在施工中の元町通りの商業環境整備事業も、“にぎわいトライアングル”構築に大きな力となりました。平成24年度は、次代のステージへ向けて、新たな一歩を踏み出します。

## Life



にしくらの家



ココ澁町



シニアマンションこうやまち巻号館



サーバス米子駅前



JR米子駅(バリアフリー化)

## Community



笑い庵



ほっしょうじ通り



元町交流センター・さん



中海テレビ放送センタービル

「人が集まり、歩いて楽しめ、元気に暮らせる中心市街地」を目指して進めている、よなご・かえるプロジェクト【米子市中心市街地活性化基本計画】。

米子のまちなか【中心市街地】活性化の最後のチャンスと捉え、平成20年11月より進めてきた基本計画も、既に3年半が経過し、第1期基本計画の終了年度の平成25年度末まで、残すところ2年を切りました。

「米子市中心市街地活性化基本計画」は、平成20年11月に内閣総理大臣の認定を受けてから、基本計画に盛り込まれた84の事業を、行政や民間事業者と一体になって取り組み、かつ、

## Shop・Culture



SKYビル



ガラスクリエイティブボックス



今井書店錦町店



善五郎蔵

スピーディな対応によって数多くの事業が動き出し、事業の数、ならびに内容、進捗状況は、**【小規模連鎖型のまちづくり:米子方式】**と呼ばれるようになり、全国で認定された中心市街地活性化基本計画117箇所（平成24年3月末現在）の中でも、スピード感を持った先導的なまちづくりの動きとして注目をあびているところです。

平成24年度は、米子市中心市街地活性化第2期基本計画策定を視野に入れた民間事業の掘り起こしに着手すると共に、にぎわいトライアングルの拠点充実と延伸拡大に取り組み、大山中海圏域のゲートタウンとしての中心市街地活性化の実現を目指します。

# 元町交流センターさん (元町食堂 いの吉)



コミュニティスペース だん

元町食堂いの吉  
店主 松本至弘さん



元町交流センター「さん」は、商店街の有志がまちづくり会社「(株)元町」を設立し、空き店舗を活用している飲食店を誘致して、地域の交流スペースと飲食店を備えた複合拠点として整備を進めたものです。

当初から、地域に根ざした食堂を目指してやってきましたが、開業から1年たつて、リピーターも増えてきたように感じています。近くの米子駅前が賑やかになってきた中、「いの吉」としても株元町としても、もう少し客数を増やす創意工夫が必要だと感じています。

年末のおせち料理と節分の恵方巻きは大変に評判がよかったので、地域交流といった観点から、今後も地域の方々のニーズに合わせて、色々と仕掛けていきたいと思っています。2年目を迎える、他店のメニューや料金体系を勉強しながら、裏庭のフリースペースの活用や新しいメニュー開発、昼食のデリバリーなどを考えています。

まちなかの商店街にある食堂として、家族連れや近所の高齢者の皆様に気楽に寄って頂けるような店にしていきたいです。



株式会社 元町  
代表取締役  
高橋信三さん

代表にきく。

平成23年7月。商店街の空き店舗が、飲食機能とコミュニティスペースを併せ持った施設へと生まれ変わりました。

1階は、「元町食堂いの吉」が入り、昼は大衆食堂、夜は、炭火焼きをメインとした居酒屋として、日替わりメニューを始め定食各種、パスタ、オムライスから本格的なうなぎ料理、鮭まで、幅広いメニューがリーズナブルに楽しめます。

2階は、「コミュニティスペース・だん」として、会合や打ち合わせなど多目的に使用できます。

「元町交流センターさん」は、元町通り商店街の有志が、まちづくり会社・(株)元町を立ち上げ、空き店舗活用事業として、経済産業省からの支援を受けて開発しました。

平成24年度中には、元町通り商店街の路面整備も完成し、米子駅と中心市街地を結び回遊性の向上が期待されます。

## DATA

### 元町交流センター「さん」

鳥取県米子市日野町55  
開店 平成23年8月1日  
施設規模 敷地:266㎡ 延床:173㎡

### 1F 元町食堂 いの吉

- 🕒 ひる 11:30~15:00
- 🕒 よる 17:30~23:00
- ☎️ 0859-30-3033
- 📅 不定休
- 🅑 なし
- 🪑 70席(個室あり)

### 2F コミュニティスペース だん

20人程度までの打ち合わせ、商談、会合等にご利用できます。  
📄 500円/時間

会社名 株式会社 元町  
所在地 鳥取県米子市日野町55  
代表取締役 高橋信三  
設立 平成23年2月7日

問い合わせ 高橋信三  
tel.090-3740-2688

# チャレンジし続ける ほっしょうじ通り

平成20年9月。改正まちづくり三法の施行と米子市中心市街地活性化協議会の設置を受け、米子市の中心市街地商店街の賑わいを復活させようと、法勝寺町商店会有志の若手事業者が発起人となって、まちづくり会社「(株)法勝寺町」が設立されました。

そして、平成21年8月には、商業環境整備の第1次事業として、老朽化したアーケード(全長125m)の撤去に着手し、平成22年春には、古い白壁土蔵をリノベーションした複合商業施設「善五郎蔵」をオープン。その後も、平成23年春には、第2次事業として、商店街の公園化をテーマとした路面整備を完了しました。

路面整備は、アーケード撤去によってもたらされた太陽の陽射しを活かし、花や緑をふんだんに活用し、地元住民をモチーフにした「ほっしょうじ七福神」のモニュメントやLED照明、来待石のフットライト、ベンチを備え、安心安全な「ほっしょうじ通り」として生まれ変わりました。

また、一方で、毎週月曜日には、法勝寺町商店会や(株)法勝寺町のメンバーに、商業環境整備の第1次事業から関わったサポーターが加わり、「まちづくり定例会議」を行い、そこで出された事業やイベント、企画を次々と形にしています。

路面整備完了と共に、米子市チャレンジショップ「ちやれんじ本舗」の管理運営を受託した他、ガラスクワイエットボックスと協力して、土曜夜市を復活した「だらず夜市」、鳥取県南部町の法勝寺地区の皆さんと連携した「軽トラ市」を定期的に開催しています。

また、ピリケン(芝生)広場や置き傘「ほっしょうじ通り七福神傘」、太陽光発電によるカーシェアリングのステーション機能を整備しました。

ピリケン広場に設置されたぶら下がり健康鉄棒やベンチ、ほっしょうじ通りの芝生の植え替えなどは、サポーターから頂いた材料を活用し、ほとんどお金を使うことなく、ほっしょうじ通りの仲間が集まって、汗を流して整備したものです。

カーシェアリングは、平成23年11月に、総務省緑の分権改革調査事業「太陽光電力供給による電気自動車カーシェアリング実証事業」を受託。善五郎蔵の屋根とほっしょうじ通りに面した駐車場にソー



紙芝居作家 松村宏さん

ラーパネルを設置し、そこで発電した電気によって電気自動車をシェアする社会実験を行なっています。

最近では、スマートコミュニティの勉強会を開催し、自然エネルギーを活用した、商店街エリアの新しい生活価値感やライフスタイルの創造を目指すまちづくりを模索中です。

「目の前のチャンスは大切にしよう」という考え方のもと、チャレンジし続けるほっしょうじ通りの皆さん。昔ながらのコミュニティと法勝寺町の皆さんの

フットワークの軽さ、決断力があってのものでしょうか。これからも、進化し続けるほっしょうじ通りが楽しみです。

会社名 株式会社法勝寺町  
所在地 鳥取県米子市法勝寺町22  
代表取締役 石賀治彦  
設立 平成20年9月30日  
問い合わせ 株式会社 法勝寺町  
tel.0859-22-2064



米子発のコンテンツビジネス起こしに取り組む、宇田川正樹さん(前列左)とアルファビルのメンバー

## アルファビル再活用事業

にぎわいトライアングルに新拠点誕生。  
米子発のコンテンツビジネス、平成24年秋オープン。

まちなかにある空きビルを活用し、漫画やイラスト、アニメや映像、音楽などのコンテンツビジネスに関連したデザインストアや工房が集まる複合商業施設が誕生します。

この施設を運営する、株式会社アルファオフィスの代表取締役・宇田川正樹さんは、ここを拠点に、幅広い分野のクリエイターやプロデューサーを育成し、ここで出来た創作物を企業ニーズとマッチングさせて商品化し販売まで行う。言わば、「コンテンツの地産」を目指すとし強く話す。

宇田川さんの根底にあるのは、前職と故郷から教わった、「地域貢献の大切さと地域を愛する心」。故郷である鳥取県南部町と米子市へ対する思いと、「自分の生まれ育った地域に対して誇りを持ってほしい」といった地域の子供たちへの願いが、郊外ではなく、賑わいを失いかけていた米子の中心市街地での事業展開へつながりました。

アルファビルは、[にぎわいトライアングル]内に位置します。周辺は、米子高島屋とやよいデパートを中心に、角盤町商店



### フロア構成

- RF 多目的活用スペース  
屋外イベントスペース
- 5F 飲食スペース  
マンガ・アニメ・映画・音楽  
コレクションギャラリー
- 4F デザイン企画ショップ  
(プロダクツコンサル企画開発)
- 3F トレーディングカードゲームショップ  
マンガ工房ショップ(オープンファクトリー)
- 2F コンテンツプロダクション  
セレクトショップ
- 1F デザイナーズファッションセレクトショップ  
ドール玩具工房ショップ(オープンファクトリー)



マンガ、アニメ、映画、音楽などのコンテンツを提案する飲食スペース

街(える・もー一番街)を構成する既存の商業集積地でもあり、向いには、コンテンツビジネスに関連した人材育成や情報発信拠点をめざす、中海テレビ放送センタービルがあります。

まちなかの賑わい創出には、今までまちなかに寄らなかった人達をどう掘り起こし、吸引するかがポイントとなります。米子発のコンテンツビジネスが、事業が進む[公会堂耐震等改修事業]や[図書館・美術館整備事業]などどのように連携し、これまで誘客できなかった客層をどのようにまちなかに呼び込めるか、期待されることです。

まちなか応援メッセージ

**米子の街は、毎月訪れる度に元気が増しているように感じます。**

赤井孝美さん 株式会社ガイナックス プロデューサー  
(ヨナゴフィルム・米子映画事業)



市民に愛されてきた「元町パティオ」に植栽や木製ベンチが

## 元町通り商店街 (元町通り商業環境整備事業)

「風かほる元気なまち～元町通り～」を目指して

「元町通り商店街」は、以前から「元町サンロード」として親しまれてきました。平成24年3月には、アーケードの完全撤去が完了し、現在、下水道・上水道・ガス管工事を含む路面整備と元町パティオの整備の真っ只中です。そして、今秋には、「商店街の公園化」をテーマに環境整備を進めている、ほっしょうじ通りと連続した新しい通りが完成予定です。

コンセプトは、「風かほる元気なまち～元町通り～」風・かほり・人・緑が奏でるハーモニーをテーマに、元町パティオの賑わい創出と共に生まれ変わります。新しい元町サンロードと元町パティオにご期待下さい。

事業概要	【路面整備】	【元町パティオ】
	全長 約295m	水飲み・洗い場 1式
	幅員 約5.8m	音響施設 1式
	排水性ブロック舗装	広場照明灯(LED) 4基
	街路灯(LED) 7基	木製ベンチ 5脚
	来待石のフットライト 21基	植栽(薬木) 52本
	常夜灯 1基	植栽(ハーブ) 14箇所
	木製ベンチ 10脚	
	植栽(薬木) 30本	

# 新しい軸「文化交流軸」が見えてきた。

米子市中心市街地の骨格にあたる国道9号に沿って、旧NHK米子支局が中海テレビ放送センタービルとして生まれ変わり、今秋には、アルファビルもオープンします。また、公共施設も以下の事業が整備、計画されています。

- 米子市公会堂……公会堂耐震改修等事業 (平成26年春オープン予定)
- 米子市立図書館……図書館・美術館整備事業 (平成25年8月オープン予定)
- 米子市美術館……図書館・美術館整備事業 (平成25年8月オープン予定)
- 山陰歴史館整備事業……検討中 (伯耆の国よなご文化創造計画)
- 史跡米子城跡整備事業

JR米子駅とJR後藤駅を結ぶ南北軸【都市軸】、旧加茂川に沿って市街地から米子港につながる東西軸【歴史文化軸】に加え、にぎわいトライアングルを横断する国道に沿って、中心市街地内の主な文化機能の再構築が進み、新たに、米子の文化と人が交流する【文化交流軸】

が見えてきました。

そして、文化交流軸上にある「地域交流センター笑い庵」の周辺エリアは、現在、「笑い通り環境整備検討委員会」が立ち上がり、今後のまちづくりの検討に入りました。「地域交流センター笑い庵」の周辺エリアは、にぎわいトライアングルゾーン内に位置し、かつ、東西軸【歴史文化軸】とも重なり、文化交流軸と歴史文化軸、にぎわいトライアングルをつなぐ重要なポイントとなることから、「笑い通り環境整備検討委員会」の動きが注目されることです。

一方で、懸案であった「公会堂改修等事業」や「図書館・美術館整備事業」も計画が進み、米子市立図書館と米子市美術館は来年8月、米子市公会堂は平成26年春のオープンが決まりました。都市軸と東西軸に、新たに加わろうとしている【文化交流軸】。中心市街地の文化機能の向上と、人が集まり、歩いて楽しみ、元気に暮らせる、まちなかの交流機能の増大が期待されます。



【中海テレビ放送センタービル概要】

隣接するアルファビルと共に、米子発のコンテンツビジネス開発を推進。本年5月には、2階に鳥取環境大学西部サテライトキャンパスが設置され、公開講座などを開き地域に開かれた施設づくりを目指しています。

【笑い通り環境整備事業概要】

人と人がつながり、まちなかと地域がつながる“地域の元気再生拠点”として誕生した、「地域交流センター笑い庵」が、平成22年9月にオープンして、はや1年半が経ちました。今年度、笑い通り商店街振興組合では、「笑い通り環境整備計画策定委員会」を立ち上げ、老朽化の著しいアーケードの改修か、撤去かを含めた、笑い通り商店街周辺の将来を見据えたまちづくり計画を策定します。



【米子市公会堂耐震改修事業概要】

耐震、設備改修および多目的に利用できる集会室、前庭の整備などを行い、文化・芸術の拠点として整備すると共に、災害時における避難所として再び位置づける。

- 設計：村野藤吾 ■竣工：1958年(昭和33年)
- 構造：地上4階・地下1階建て 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
- 敷地面積：約11,500㎡ ■(改修後)延床面積：約5,000㎡

【図書館・美術館事業概要】

現有施設を有効に活用しながら現在地での整備を行うと共にバリアフリー化を推進し、使いやすさを向上させる。平成25年8月オープン予定

- 米子市立図書館——図書機能の拡充と多目的交流スペース等の新設等。
- 米子市美術館——各展示室の内装改修や展示室稼働間仕切り改修、カフェ新設等。
- 周辺整備——創作広場整備



## 米子市公会堂耐震等改修事業について

小谷幸久さん  
米子市公会堂市民会議会長  
米子市文化協議会会長

地域の貴重な財産である公会堂をなんとか残したいと、多くの市民が要望していた公会堂の改修事業が、いよいよ始まることになりました。

今年3月に示された基本設計では、公会堂の形状や特徴ある意匠の再現、誰もが使いやすい前庭の公園化、ホワイエのイベントスペースとしての活用やオープンカフェの設置、リハーサル室への導線やトイレの改修等々、使用団体のみならず市民にとっても使い良い内容になると喜んでます。

今後は、公会堂とホワイエ・前庭を利用して隣接する、える・もー一番街等商店街や、既存商業施設とも連携しながら人の回遊を生みだし、公会堂が中心市街地の新しい賑わいの拠点となることを目指していきたいと思ひます。

平成26年春には供用開始になります。「蘇った公会堂」の完成が楽しみです。

# まちなかの今後の課題と目標

## にぎわいトライアングルの拠点充実と延伸拡大

平成24年度は、第1期基本計画における新規民間事業申請の最後の年であり、米子市の第2期基本計画策定に向けて、民間事業の掘り起こしに着手する年でもあります。

そして、第1期基本計画も残り2年をきり、米子市中心市街地活性化の取り組みの真価がさらに問われると共に、その目標点を明確にして行くことが求められています。

米子市の中心市街地は、中海圏域の交通結節点であり、“人が集まり、歩いて楽しむ、元気づらせる中心市街地”の実現のためには圏域住民のみならず年間1,000万人を超える周辺交流人口の誘引に組み込み、商業、福祉、まちなか居住に止まらず、農水産業

はもとより、文化、ポップカルチャー、健康・スポーツ、まちなか観光などあらゆる地域資源を活かした新たなビジネスチャンスづくりに繋げて行くことが必要です。

昨年度に引き続き、本年度も“にぎわいトライアングル”の拠点充実と、南北軸（都市軸）・東西軸（歴史文化軸）、それに新たに形成されようとしている（文化交流軸）に沿って“にぎわいトライアングル”の延伸拡大に組み込み、米子市中心市街地の活性化を“魅力ある地域づくり”“大山中海圏域のゲートタウン”として、中心市街地活性化の実現を目指します。

### 魅力ある地域づくり

### 大山中海圏域のゲートタウン

#### ① にぎわいトライアングルの拠点充実

既存拠点事業の安定化と新たな拠点整備およびそれらの連携強化を目指し、図書館・美術館整備事業、公会堂改修事業、アルファビルと中海テレビ放送センタービルによる米子発コンテンツビジネス開発、紺屋町まちなか式号館、元町通り環境整備、まんが王国とっとりや米子映画事変との連携による賑わい創出、地産地消イベント：よなごマルシェ、まちづくり会社連携イベント等のあらゆる活性化事業との連携とその推進を図り、“にぎわいトライアングル”を商業、文化、まちなか居住・福祉が複合した、人々が必ず訪れてみたい、そしてそこで住みたい、働きたい、学びたいと思うような魅力あるエリアを目指した深掘り支援と拠点充実に取り組めます。

#### ② にぎわいトライアングルの延伸・拡大

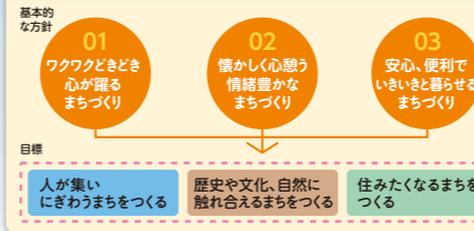
“人が集まり、歩いて楽しむ、元気に暮らせる中心市街地”の実現のためには、広域観光との連携を図りながら周辺交流人口を中心市街地に吸引することが必須の課題であり、吸引のための交通拠点となるJR米子駅、JR後藤駅、米子港を新たな拠点とした“にぎわいトライアングル”の延伸拡大に取り組めます。

JR米子駅南北一体化構想の調査研究と米子港再生プロジェクトの検討を踏まえ、中心市街地から徒歩圏内であること、ウォーターフロントと大山の眺望、そして、境港～安来・松江間の交通結節点という条件を備え、中心市街地に新たな魅力導入の可能性を持つ米子港の再生活用検討に取り組めます。

#### ③ 多様なまちづくり組織・人材との連携推進と新たな担い手の育成支援

第1期基本計画の進行と共に、“にぎわいトライアングル”には、それぞれのエリアに民間主体による7つのまちづくり会社等が設立されました。今後は、エリアごとのまちづくり会社、NPO法人、よなごマルシェによる農水産事業者、ポップカルチャーに関わる人材等の多様なまちづくり組織・人材との連携体制づくりを進めるとともに、笑い庵インキュベーションスペース、法勝寺町チャレンジショップ（ちゃれんじ本舗）を通じた新たな担い手の育成支援に取り組めます。

#### 米子市中心市街地活性化基本計画の基本的な方針及び目標



米子港から(車で)	
皆生温泉まで	約10分
とっとり花回廊まで	約25分
水木しげるロードまで	約30分
大山まで	約30分
足立美術館まで	約35分
松江まで	約40分
出雲大社まで	約1時間30分



JR後藤駅  
境港駅まで 約35分  
米子空港駅まで 約20分

JR米子駅  
山陰本線・境線・伯備線と  
連結→駅南整備構想検討

..... だんだんバスルート